

血液透析中の血圧変動と透析患者の予後について

1. 研究対象者

2021年4月～2022年3月に当院で血液透析を受けられた方

2. 研究目的・方法

人工透析治療を行うとき、血圧が低下して透析をいったん中断したり点滴したりという治療・処置が必要となることがときどきあります。その原因として、浸透圧が変化する、除水で血液の量が減るなどいろいろ考えられますが、血圧が下がる患者さんは、その後の経過に注意が必要という研究結果も出ているので、各患者さんに血圧の低下が起こるのか、予測したいと思っています。しかし、今のところそれが明らかになっていません。また、現在、透析終了時の目標体重（ドライウエイト）は胸部レントゲン写真や採血結果などから計算して決めています。しかし、心臓自体のデータは使われていません。血圧低下ということを考えればドライウエイトを決めるのに心臓のデータも入れた方がいいのは当然です。そこで、今回の研究では透析に先立って脳性ナトリウム利尿ペプチド（BNP）を測定している患者さん、つまり心不全が気になり測定させていただいた患者さんに絞って、心臓エコー検査の結果が血圧低下の起こりやすさと関係するかを明らかにしようと考えています。研究期間は、2023年3月末までです。

今回得られる情報が当該研究に用いられることについて患者さんに同意いただけない場合には研究対象としないので、問い合わせ先までお申し出ください。拒否された場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：透析記録、血液データ、心臓超音波検査データ

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部附属病院 医療技術部 臨床工学部門 徳弘 誠

TEL：088-866-5811

研究責任者：高知大学医学部連繫医工学分野 渡橋和政

-----以上